

# 令和5年度事業報告

## 1. 事業概要

我が国におきましては、少子高齢化が進展し高齢者人口が増加するなかで、高齢者の労働力はますます重要な存在となっていることから、就業を希望する高齢者に就業機会を提供することにより、現役世代の下支えや人手不足分野での労働力確保に貢献するシルバー人材センターに対する地域社会の期待は一層大きくなっています。

一方、経済の状況は、コロナ禍から脱却しつつあるものの、円安等による資源価格の高止まりや賃金の上昇が物価上昇に追いついておらず、個人消費などは低迷しております。

このような状況下において、受託事業での公共事業は 2.2%微増となったものの、民間企業等は 12.2%減、一般家庭は 8.2%減となり、全体の契約金額では、5,001 千円減の 95,332 千円となりました。

また、労働者派遣事業においては、昨年度と受注件数、就業延日人員はともに減少し、契約金額では 569 千円の減少となっております。

このことから、受託事業、派遣事業ともに減少となり、合計の契約金額では 5,571 千円の減少と前年度を大きく下回りました。

一方、当センターの会員数は、退会者数が昨年度の 31 名より 12 名増の 43 名、入会者数が昨年度の 27 名より 7 名増の 34 名だったことが、会員数の減少に大きく影響しました。退会の主な理由を見ますと、病気、加齢によるものが多くなりました。市回覧板への広告掲載等の会員確保・拡大のための取り組みや高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を活用し、会員の募集に努めて参りましたが、引き続き継続してまいります。

また、安全・適正就業を最優先課題として取り組んできましたが、草刈り作業中などに 7 件の事故が発生したことから、地域班会議において、安全就業の再確認を行うなど研修を実施しました。

以下、令和5年度の状況を報告いたします。

## 2. 事業報告

### (1) 会員の増強と就業機会の拡大

新規入会者数は、男性 22 名、女性 12 名となり、昨年度よりは 7 名増えたものの、退会者数が、男性 24 名、女性 19 名と新規入会者を 9 名上回りました。

退会理由で一番多いのは、男性が「病気」、女性が「加齢」となりました。企業等への就職が決まったことによる退会者は大幅な増加となり、昨年度は 6 名で今年度は 12 名となりました。

	今年度末 会員数	入会 会員数	退会 会員数	前年度末 会員数	増減
男性	153 名	22 名	24 名	155 名	△ 2 名
女性	95 名	12 名	19 名	102 名	△ 7 名
計	248 名	34 名	43 名	257 名	△ 9 名

## (ア) 会員の増強

昨年度に引き続き、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を活用して会員募集チラシの配布を実施いたしました。

会員による入会勧誘活動については、理事会、地域班長会議さらに市内6会場で開催した地域班会議において、その重要性を説明し知人などへの声かけ勧誘を推奨しました。

## (イ) 就業機会の拡大

### ① 受託事業

官公庁、民間企業及び家庭等からの発注と会員の就業ニーズを調整し、多くの会員が就業できるよう、就業機会の提供を行いました。

また、「介護予防・日常生活支援総合事業」や「空き家等の適正管理の推進に関する協定」等による就業の拡大も行いました。

実績としては、公共事業が2.2%と僅かながら増加したものの、民間企業が△12.2%、一般家庭が△8.2%、独自事業が△18.1%と大幅な減少となり、全体では△5.0%の減少となりました。

### ・年度実績

		今年度末実績	前年度末実績	増減
受託件数		1,359件	1,423件	△64件
契約額	公共事業	41,128,531円	40,252,433円	876,098円
	企業等	21,085,795円	24,008,692円	△2,922,897円
	一般家庭	33,063,153円	36,005,741円	△2,942,588円
	独自事業	54,219円	66,200円	△11,981円
	計	95,331,698円	100,333,066円	△5,001,368円
就業延日人員		15,905人日	17,562人日	△1,657人日
就業率		81.0%	73.5%	7.5pt

### ② 独自事業

庭木の雪吊りに使用する、藁帽子の飾りや杭を製作し販売しました。

	参加人数	利用料 売上金額	備考
雪吊り藁帽子	4名	54,219円	庭木班

### ③ 職業紹介事業

雇用による就業を希望する会員及び地域の高齢者を対象に、有料の職業紹介による就業機会の提供の説明を行いました。

求人件数	求職件数	就職件数
0 件	0 件	0 件

#### ④ 労働者派遣事業

労働者派遣事業の派遣元である連合本部の実施事務所として、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を活用し、新たな派遣先の開拓を行い会員の就業拡大を目指しましたが、実績としては、延人日で△8.8%、契約金額で△4.1%とそれぞれ減少となりました。

派遣労働 登録会員数	受注件数	契約金額	延日人員
88 名	28 件	13,411,475 円	2,105 人日

#### ⑤ 指定管理業務の適正な運営

二戸市から指定管理を受託している二戸市勤労者総合福祉センター（ワークインにのへ）についての契約金額等は以下の通りです。

・開館日数	297 日
・就業延人員	601 人日
・受託事業費	7,577,654 円
（指定管理料	6,084 千円）
（利用料等収入	1,493 千円）

### （2）安全適正就業の推進

会員の安全就業は事業運営の最重要課題であり、全国的に重篤事故が多い庭木剪定作業および賠償事故が多い草刈り作業についての技能講習会を開催しました。

また、会員自身の健康管理は、市の保健師の協力を得て各地域班会議にて高齢者の健康についての講話を実施しました。

- ① 安全委員会の開催 3 回
- ② 安全就業パトロールの実施 5 回 10 現場
- ③ 安全講習会の開催 2 回 17 名参加
- ④ 地域班会議にて安全就業及び健康管理の周知  
6 会場 102 名参加

### （3）普及啓発活動の推進

#### ① 広報活動強化

地域の高齢者に対して、シルバー事業への理解を深め興味を持ってもらうことを目的にしていた各種イベント等が、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小傾向となっていることから、主に高齢者の加入促進を重点に、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を活用し、一般家庭へのチラシ配布を行い新規会員募集及び就業開拓を行いました。

また、SNSを活用しての情報発信を実施しました。

- ・ 会員一人が一人入会活動
- ・ 入会説明会の開催（毎月第3月曜日）
- ・ Twitter や Facebook の運用
- ・ 市内の一般家庭へのチラシ配布 4,060 枚

② ボランティア活動の実施

コロナ禍の影響により中止としました。

(4) 事業運営の活性化

① 理事部会活動の活性化

イベント等がコロナ禍で中止になったことなどにより開催がありませんでした。

② 職域班の活性化

職域班会員の入れ替え等を行い、会員同士の意識改革と活性化を行いました。

③ 技能講習会等の開催

会員の技能習得及び安全就業の徹底を目的に、以下の技能講習会を行いました。

講習会名	実施日	参加人数	主な講習場所
植木剪定講習会	6月6日～13日	10名	スポーツセンター他
草刈機、芝刈機取扱講習会	6月27日	7名	馬淵川公園

(5) 派遣労働者の教育訓練

労働者派遣法で定められている、派遣労働者が段階的かつ体系的に派遣就業に必要な技能及び知識を習得することができるよう、キャリア形成に資する教育訓練を開催しました。

訓練形式	実施月日	参加人数	開催場所
OFF-JT	9月20日	13名	ワークインにのへ(オンライン)

(6) 効率的な組織体制と健全な財政運営

① 国より事業実施のために、高年齢者就業機会確保事業費等補助金として、11,655千円の交付を受けました。

- ・ 運営費補助金 5,100千円
- ・ 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業 6,555千円

② 二戸市より上記事業実施のために、二戸市高年齢者就業機会確保事業費等補助金として12,000千円の交付を受けました。